

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会
地上業務委員会(第21回) 議事概要 (案)

1 開催日時

平成24年9月21日(金) 16:00~18:00

2 場所

総務省10階共用1001会議室

3 出席者(敬称略、順不同)

[専門委員]

三瓶 政一(主査)、飯塚 留美、阪田 史郎、佐藤、明雄、佐藤 孝平、高野 祐美
子、中村 勝英、橋本 明

[関係者]

新 博行、丹野 元博、藤井 啓正、本多 美雄

[事務局]

田沼、加藤、奥井

4 配付資料

- | | |
|----------|---------------------------------|
| 資料地-21-1 | 地上業務委員会(第20回)議事要旨(案) |
| 資料地-21-2 | ITU-R SG5 WP5D第13回会合報告書(案) |
| 資料地-21-3 | ITU-R SG5 WP5D第14回会合への日本寄与文書(案) |
| 資料地-21-4 | ITU-R SG5 WP5D第14回会合への対処方針(案) |
| 参考資料1 | ITU-R SG5 WP5D第14回会合の開催案内 |
| 参考資料2 | ITU-R SG5 WP5D第14回会合の日本代表団一覧 |
| 参考資料3 | 地上業務委員会構成員名簿 |

5 議事概要

(1) 地上業務委員会（第20回）の議事要旨について

【資料地－21－1】

地上業務委員会（第20回）の議事要旨について、事務局から説明があった。

なお、修正項目がある場合は9月28日（金）までに事務局へ連絡する旨了承された。

(2) ITU-R SG5 WP5D第13回会合の報告について

【資料地－21－2】

事務局から、平成24年7月に開催されたITU-R SG5 WP5D（第13回）会合の報告があり、承認された。

(3) ITU-R SG5 WP5D第14回会合への日本寄与文書案について

【資料地－21－3－1】

事務局から「WRC-15議題1.1で検討すべきIMTへの適切な周波数帯」に関する寄与文書案の説明が行われ、エディトリアルな修正が施されるとともに、以下の質疑応答の後、承認された。

（質疑応答）

飯塚委員：他国でも1.5GHz帯周辺の周波数帯をIMTへ利用することを検討している。我が国と調和のとれた周波数帯になるよう対処していただきたい。

事務局：ご指摘を踏まえ対処したい。

【資料地－21－3－2】

新氏から「WRC-15議題1.1所要周波数帯域幅検討に関する考察」の寄与文書案について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

（質疑応答）

橋本委員：本寄与文書はWP5DからJTG4-5-6-7へ提出する文書のエッセンスをまとめるもの、という理解でよいか。

新氏：その通りである。

三瓶主査：WP5DからJTG4-5-6-7へ提出する文書はリエゾンという形にするということか。

新氏：前回会合でそのような結論となっている。

【資料地－21－3－3】

藤井氏から「WRC-15議題1.1所要周波数帯域幅の検討のためのトラヒック予測」に

関する寄与文書案の説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(質疑応答)

橋本委員：IMTの所要周波数帯域幅をまとめたレポートM. 2078の改訂を提案するという事か。

新氏：レポートM. 2078のパラメータを修正し、修正結果は新レポートに反映させることを想定しているが、関係者と議論する予定である。

三瓶主査：方法は変えず、パラメータのみを変更するという事を明確に記載すべきではないか。

藤井氏：【資料地-21-3-2】から【資料地-21-3-4】の一連の寄与文書において、意図が明確にわかるように対処させていただく。

【資料地-21-3-4】

藤井氏から「WRC-15議題1.1所要周波数帯域幅算出のための入力パラメータ値の提案」に関する寄与文書案について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(質疑応答)

橋本委員：本寄与文書における提案のアウトプットをどうするか明確ではない。

新氏：アウトプットをどうするかについては明確には記載していないが、関係者と今後議論したい。

【資料地-21-3-5】

丹野氏から「WRC-15議題1.1に関するJTG4-5-6-7の共用検討のためのパラメータの考察」に関する寄与文書案について説明が行われ、エディトリアルな修正が施され、承認された。

【資料地-21-3-6】

事務局から「日本における携帯電話の700MHz帯割り当て情報」に関する寄与文書案について説明が行われ、エディトリアルな修正が施され、承認された。

【資料地-21-3-7】

新氏から「WRC-15議題1.2のチャネルアレンジメントに関する考察」に関する寄与文書案について説明が行われ、特段の議論はなく、承認された。

【資料地-21-3-8】

高野氏から「FUTURE IMT VISION に対する提案」に関する寄与文書案について説明が行われ、エディトリアルな修正が施され、承認された。

【資料地－２１－３－９】

本多氏から「将来の技術トレンドに関するレポートへの提案」に関する寄与文書案について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(質疑応答)

橋 本 委 員：新レポートのタイトル案も提案すべきであろう。

本 多 氏：関係者とも検討し、案を考えたい。

(４) ITU-R SG5 WP5D第14回への対処方針について

【資料地－２１－４】

事務局より、ITU-R SG5 WP5D第14回会合への対処方針（案）について説明が行われ、承認された。

(５) その他

修正の必要がある寄与文書については、９月25日（火）17：00までに事務局に提出することになった。

また、承認された寄書について、大きく主旨の変更がない限りは、文書案の変更の可能性のある旨、事務局から了承を求め、承認された。

以上